

- 1 題材名 3つのヒント
- 2 題材のねらい たくさんの絵カードを手にとりながらカードゲームを楽しみ、美術作品に親しむとともに、友達とヒントを出し合って、作品を鑑賞するきっかけをつくる。
- 3 指導目標
- ・友達のヒントをもとに作品を見ることを楽しもうとする。[関心・意欲・態度]
  - ・絵についてのヒントをもとに、特徴を見つけることができる。[鑑賞の能力]
- 4 指導計画 (45分計画)

	学 習 活 動	留 意 点
導 入 5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3つのヒント」のゲーム説明をきく。</li> <li>・4～6人のグループで机を合わせる。絵カードを机に広げ、先生が出すヒントをもとに、絵カードをとってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MuseumBox 宝箱」の絵カードを見せ、簡明にゲーム説明をする。</li> <li>・絵カードを取れた人をほめ、子どもたちが楽しくゲームできるよう、雰囲気をつくる。</li> </ul>
展 開  30 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒントを出すグループを決め、他のグループの人たちに当ててほしい絵カードの一つを選ぶ。</li> <li>・相談して、選んだ絵カードについてのヒントを3つまで考える。</li> <li>・他のグループの人たちは、ヒントをもとに絵カードを取る。取る時は「はい!」と言う。</li> <li>・3つヒントを出したら、次のグループと交代。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の選定や、ヒントの相談に長く時間がかからないよう、必要に応じて助言する。</li> <li>・ヒントとヒントの間にも、長く時間がかかりがちである。テンポよくヒントを出させる。</li> </ul>
ま と め  10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードが何枚とれたか、発表する。</li> <li>・絵カードが、神奈川県立近代美術館の所蔵作品であることを知る。</li> <li>・ワークシートに、自分の好きなカードについて記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんカードを取れた人を評価する。</li> <li>・絵カードの実物作品が、身近な美術館に所蔵されていることを知らせる。</li> </ul>

実践して気が付いたことなど

- ・最初は20枚のカードでゲームすると、カードを探しやすい。全グループで同じ20枚を使うこと。
- ・最後に子どもたちにカードを番号順にそろえさせると、次回も遊びやすい。
- ・子どもたちがゲーム中にカードを見る様子に加えて、ワークシートの記入内容から、子どもたちの鑑賞の能力がどの程度身に付いたかが判断でき、評価することができる。

ワークシート (別紙)